

# トヨ子&としやの 市政報告

2016年  
11月号  
第15号

発行者：日本共産党大垣市議団  
発行日：2016年11月1日  
連絡先：大垣市室本町5-8  
Tel 78-6865 Fax 73-8572



**笹田トヨ子** 企画総務委  
議会運営委  
Eメール sanba1@sasada-toyoko.jp  
**中田としや** 建設環境委  
子育て日本一対策副委員長  
Eメール nakatatoshiya015@gmail.com



定例議会は年4回。議会のない期間を利用して各委員会は他の自治体などに視察に出かけます。笹田・中田議員もそれぞれ所属する委員会の視察旅行に出かけました。以下にその報告をします。

## 視察報告 市民参加のもと、慎重に業者・予算決定 町田市の新庁舎建設 企画総務委員会視察 笹田トヨ子

10月19日、企画総務委員会で町田市の新庁舎建設を視察しました。大垣市の庁舎建設と比べ、取り組みにいろいろ違いがあり参考になりました。

### 庁舎建設特別委員会を設置

大垣市の新庁舎建設は、当初「耐震化」の方向で出されていましたが、いつの間にか新庁舎建設に切り替わるといふもので、議会で正面から議論するという場はありませんでした。町田市は早い段階から議会に「庁舎等に関する特別委員会」を設置、庁内及び市民・学識経験者等の検討委員会など3～4年経て、議会で可決しています。その後、節目ごとに「庁舎等検討特別委員会」や「新庁舎建設等に関する調査特別委員会」を設置し議会で十分審議する体制になっ

ていました。

### 市民に開かれた設計者・施工業者選定

建設設計者の選定では「町田市新庁舎設計者選定委員会」が設置され、選定方法や選定過程などが議事録が公表されています。48社参加のもとで設計者が決まり、市民参加による基本設計ワークショップを6回行い、基本設計が策定されました。建設施工者の選定においては、有識者による「新庁舎建設施工者選定手法等検討委員会」を設置し、町田方式という独自の選定手法で、企業の技術力や姿勢の他、町田市新庁舎の特性理解度、業者提案項目として「市内経済の活性化」「市民参加」「技術提案」が評価項目となった選考書類と入札価格をもとに総合評価値を算出して、最も高い者が落札者となる

### 大垣市と町田市の基礎データと新庁舎

大 垣 市	町 田 市
人口：158662人 財政力指数：0.91 人口1人当り地方債残高：38.83万円 将来負担比率：19.3%	人口：421746人 財政力指数：0.97 人口1人当り地方債残高：17.45万円 将来負担比率：0%
敷地面積：11,800㎡ 建築面積：3,400㎡ 延床面積：20,400㎡ 階数：地上8階 塔屋1階、高さ38m 構造：鉄骨造（免震構造）	敷地面積：15,969㎡（庁舎+立体駐車場） 建築面積：7,661㎡+（立体駐車場1,398㎡） 延床面積：41,510㎡ 階数：地下1階 地上10階 塔屋2階、高さ42.62m 構造：鉄骨造

方式です。その結果も全て公表されていました。

大垣市はプロポーザル実施要綱に基づき公募し、選定結果として評価結果・講評は出されていますが、選定過程は非公開でした。

### 本格的CM導入で市民納得の建設費

町田市庁舎は国内初めて本格的コンストラクション・マネジメント(CM)を導入した公共施設として注目を浴びています。CMは医療のセカンドオピニオンと同じで、庁舎建設においても市民が一番近い立場で物事を考えるプロフェッショナルが必要と、第3者外部組織CM業者を1億円で導入し、かなりの効果をあげたとのこと。新庁舎にかかる経費は、計画当初

で総額166.4億円(㎡単価40.08万円)と想定していましたが、結果として148.6億円で17.8億円の経費削減を行なっています。

大垣市の場合、基本構想による

### 交差点角の電柱が移動

「市政報告」2月号でお知らせした、林町の交差点角の電柱。緊急自動車も切り返さなくては曲が



と㎡単価42万円とし本体事業費90億円程度としていますが、基礎工事、解体費、外構整備費などの程度かかるか、いまだ明らかになっていません。

れない状態でしたが、中田議員の奔走もあって、中部電力がこのほど写真のように移動しました。



左は移動前、右は移動後

**視察報告** **地域に密着した子育て支援体制の充実**  
**長岡市の「子育ての駅」**  
 子育て支援日本一対策員会視察 **中田としや**

10月31日・11月1日の2日間、新潟県長岡市と東京都品川区の子育て支援状況を視察してきましたので報告します。

**地域の特性を配慮した施設**

豪雪地帯の長岡市は、冬期には外での遊びがままならず、出かけるにも難渋します。

子育て施設は、全国初の保育士のいる屋根付き公園「子育ての駅」と称して、1万冊以上の絵本をそろえた絵本館や自然あふれる公園など4か所の施設を中心に、保育園・保健センター・地域体育館を利用した10か所の地域版子育ての駅を置いて、地域に密着した施設を整えています。それらの施設には、「てくてく」「ぐんぐん」「すくすく」など子供たちにも親しみやすい愛称がつけられています。

**多世代での支援体制**

どの施設も、施設の特性を生かした多様なイベントを企画・実行しており、それを進めるサポーターを募集しています。

ホームページには、「絵本読み聞かせ、昔遊び、花植え、野菜栽培、子どもの見守り など」と活動

例を紹介しながら、子育て支援、福祉、国際交流、園芸、自然体験など市内で活動している団体・サークル、個人等を対象として、ボランティア参加を呼び掛けています。それに応じて、高校生なども積極的に参加しているようです。

こうした多世代の支援体制が取れるのも、中越地震の際の仮設住宅でお母さんたちが子育てを支援しあった経験が生きているということです。

**子育て支援アプリの活用**

長岡市では、これらの施設の活動が手に取るようにわかる「子育てタウン」アプリがあり、若いママたちがスマートフォンなどにダウンロードして利用できるようにしています。

子育て支援アプリについては、翌日訪問した東京都品川区も「しながわパパママ応援アプリ」を作成して、「しながわパパママ応援サイト」と連携して情報を発信し、子育て中のママパパを支援しています。

**今回の視察に学ぶこと**

長岡市や品川区の子育て支援の

体制を見て、大垣市が学ぶべきところはなんでしょうか。

- ①身近な場所に支援施設、公園の整備を
- ②ボランティアの協力を募るなど、子育て世代だけでなく多世代で支援し合う体制づくりを
- ③アプリでも、支援センターでも、利用者の声を反映する仕組みをとということが考えられます。

**視察を通じて感じたこと**

不正な政務活動費の使い方が大きな問題になっています。「視察旅行」もその成果が問われています。早速学んだことをまとめ、市に提案していきたいと思えます。

**ご存知ですか**  
**大垣市子育て支援ポータルサイトの積極的な活用を**

大垣市も、2013年に「子育て応援サイト『ママフレ』」を設けています。今年からは「大垣市子育て支援ポータルサイト」を立ち上げ、予防接種・健康診断・イベントの案内や子育て施設へのお出かけなどの情報を提供しています。

子育て支援アプリのスマートフォンへのダウンロード案内もあり、子育てにがんばっているパパママの積極的な活用が望まれます。

**国民の立場で真実を伝え続ける**  
**しんぶん赤旗をお読みください。**  
 日刊紙…3497円 日曜版…823円

**トヨ子&としやの10月活動日誌**

- 笹田トヨ子**
- 【10月】
- 4日 養老鉄道未来をつくる会
  - 11日 議会運営委員会視察(～13日)
  - 15日 憲法学習会
  - 17日 企画総務委員会視察(～19日)
  - 24日 未来ビジョン会議
  - 27日 発達相談 西美濃福祉会理事会
  - 30日 医療生協健康まつり

- 中田としや**
- 【10月】
- 3日 法律事務所友の会羽島支部役員会
  - 4日 小川ゼミ「子育て日本一って?」
  - 11日 各務原住民投票活動視察
  - 14日 都市計画審議会
  - 16日 県労連組合対抗フットサル大会
  - 120日 議会だより編集委員会
  - 22日 朝日大学祭
  - 23日 映画「永遠の0」を観る会
  - 29日 大垣女短祭
  - 30日 医療生協健康祭り

**総合計画審議会はじまる**

10月24日、第1回大垣市総合計画審議会が開催され、大垣市の30年先を見据えた「未来ビジョン基本構想」の素案が出されました。

人口減少時代に入っている中、30年先でも人口15万人を維持するためには相当の覚悟が必要です。そのためには、5年毎に策定する基本計画でどれだけ真剣に議論し、それに対応した施策を作るかが鍵であると思えます。

平成29年4月から始まる第1期基本計画の策定は3部会に分

かれ、私は第3部会に所属し、「人づくり」「市民協働」について審議することになっています。みなさんのご意見をお寄せください。(笹田)



大垣市は、平成30年に市制100周年を迎えます。さまざまな記念事業も計画が進んでいますが、その一環として「大垣市未来ビジョン」を策定するものです。1基本構想(未来ビジョン)2基本計画(推進プラン)3実施計画(アクションプラン)をもって構成されます。地域創成戦略課のもとで推進されています。